

近代美術館再開館に向けた老朽化対策工事について

1. 概要

県立近代美術館については、老朽化対策工事を実施したうえで、令和3年度早期に再開館する予定である。

今般、これにかかる実施設計を完了したので、内容について報告する。

2. 主な工事内容

○展示室内装の改修

- ・ハロンガス消火設備の設置
- ・天井・壁面・床面の貼替、照明のLED化、展示ケースの改修等

○来館者利便性の向上

- ・来館者用トイレ(3箇所)の内装改修、衛生器具の洋式化等
- ・1階旧レファランズ・ルームをボランティア等活動室および多目的室に改修
- ・2階旧レストラン厨房を授乳室とおむつ替えスペース、ファミリートイレに改修
- ・くつろぎルームにキッズスペース新設

○安全性・セキュリティの向上

- ・エントランスロビー天井張替
- ・防火シャッター改修
- ・来館者エリアと管理エリアを区分する扉新設や電子錠設置

○建物改修、設備等更新

- ・企画展示室屋根の一部をカバー工法により改修
- ・空調等設備の更新(冷却塔、受水槽、冷却水ポンプ等)

3. 今後のスケジュール(予定)

令和元年12月	工事起工
令和2年1月	入札公告
令和2年3月	入札、契約
令和2年4月	工事着手
令和2年12月	工事竣工
令和3年度早期	再開館

(参考)

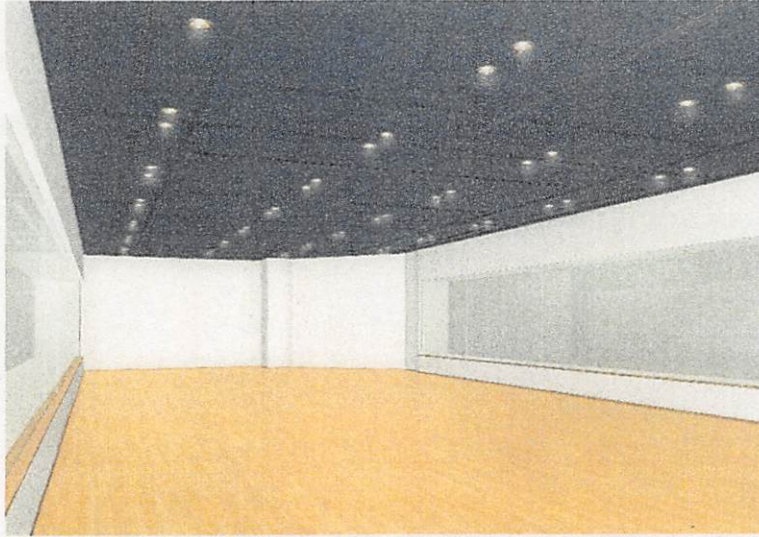
令和3年度(2021年度)早期の再開館を目指すため、令和元年度中に工事契約締結を行えるよう、工事請負費と工事監理業務委託料について債務負担行為を設定。

○債務負担行為金額(令和元年度～令和2年度)

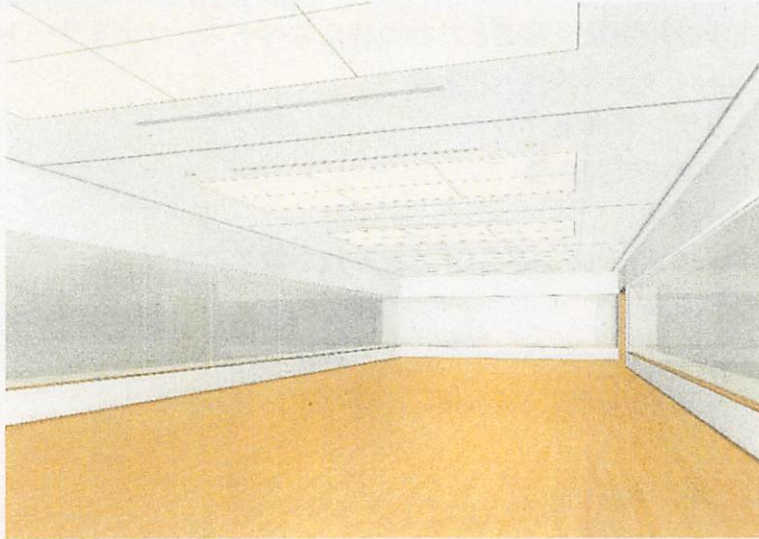
- ・近代美術館老朽化対策工事(1,114,500千円)
- ・近代美術館老朽化対策工事監理業務委託(11,145千円)

近代美術館老朽化対策工事イメージパース

○常設展示室 1



○企画展示室



○授乳室

